

私は日本共産党市議団を代表して、委員会提出議案第4号 鳥取市庁舎耐震改修及び一部増築案に関する調査を委託する件について、反対の立場で討論をおこないます。

この議案は、耐震改修及び一部増築案の20億8千万円の中身を、議会が知見の活用として第三者に委託をし、検証させるものです。

これについては、特別委員会で議論してきました。20億8千万円の中身について、議会として説明する責任があるということがほとんどの委員から出されました。けれども、議会が全会一致で決め、住民投票の選択肢とした案を、いまになって、なぜ議会が検証しなければならないのかという説明はされていません。市当局ではなく、議会が検証しなければならない理由は何ら明らかにされていません。これでは、市民に対する説明にはなっていません。

住民投票によって耐震改修をおこなうということが決まったわけですから、当然のこと市当局が執行機関として取り組むべき事業です。市民もそう思っています。それを、市当局にさせずに、議会が検証をする必要があるのであれば、その理由をまずは明らかにすべきです。

知見の活用ということをして、市民に説明できない委託を認めることはできません。

以上、反対の理由を述べました。議員各位のご賛同を期待しまして、討論を終わります。